

改善箇所説明図



速度感応式パワーステアリングシステムの回路短絡検知ソフトウェアが不適切なため、走行中に回路短絡の誤検知が発生し、パワーステアリングのアシスト量が高速走行用の低アシスト量に固定され、ステアリング操作が困難になるおそれがある。

改善の内容

全車両、回路短絡検知ソフトウェアを対策ソフトウェアに変更する。

識別：左側後ドアヒンジ取り付けボルトに白ペイントを塗布する。

注： は改善部品を示す。